

郡山普及だより Yes! 農!!

発行:福島県県中農林事務所農業振興普及部
住所:〒963-8540 郡山市麓山1-1-1
TEL:024-935-1321 FAX:024-935-7030

ごあいさつ (農業振興普及部長 古川 勝弘)



安積山からの展望

安積山から東を眺望すると、豊かな水を湛えた田面が広がっています。熱海から多田野、大槻ヶ原へと疏水の流れを目で追うと、歴史の転換期に、3万石の大地を生産量10倍の全国有数の穀倉地帯へと変えた開拓者たちの思いを感じます。

来年はいよいよオリンピックイヤーです。前回の東京大会では、食の洋風化が進んだと言われます。2020大会は持続可能性に配慮した大会であり、今後、人と環境、社会に優しい取組が進むと考えられます。私たちは、安全で負担が少なく経営的にも魅力ある農業の確立

を図り、多くの人々から共感が得られるよう、GAP等目に見える形で発信していきますので、この新しい令和の時代を共に切り拓いて参りましょう。

あなたも取り組みませんか？「GAP認証」

福島県は、平成29年5月15日に「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」を行い、県を挙げてGAPの取組を推進しています。GAPに取り組むことで経営改善ができ、さらに第三者認証GAP等を取得することにより消費者への安全性のPRになります。また、第三者認証GAP等の取得は東京2020オリンピック・パラリンピックの食材調達基準にもなっています。

農業振興普及部は昨年度、研修会や相談会等のGAP認証に向けた支援を行い、3件（個人2件、団体1件）が認証になりました。第三者認証GAP取得等も支援する補助事業もありますので取り組みたいと思った方はいつでもお気軽にご相談ください。



FGAP模擬審査研修会の様子



普及指導員による現地支援

郡山市各農業士会からのお知らせ

初めまして！ 新指導農業士 中田 幸(みゆき)さん



今年度より指導農業士に認定された中田幸さんは、夫の幸治さんと一緒に、平成27年に株式会社なかた農園を設立し、代表の幸治さんは栽培部門を、幸さんが経理部門を担当しています。現在は長ねぎと葉ねぎを組み合わせたねぎの周年生産を行っており、大部分は業務用の契約栽培です。

これからの抱負としては、以前、学校給食関係に勤めていた経験から食と農の架け橋になること、さらに経理関係についてスキルアップしたいとお話でした。

女性ならではの新しい視点を活かして、郡山の農業をさらに活性化してくれることを期待しています。

郡山市指導農業士会研修会を開催しました

平成31年3月14日、郡山地域の農業を牽引する郡山市指導農業士会研修会・総会が開催されました。

研修会では、平成30年秋、西田町に新工場を開設した「株式会社ベルッコ」を視察研修しました。看板商品「ジャンボなめこ」等徹底した空調管理の下、機械化された菌床なめこの生産状況を見学しました。

さらに、総会後の懇親会では、初の試みとして会員の方々が生産した野菜を使ってサラダを作り、賞味しました。



会員が生産した野菜で作ったサラダ

郡山市青年農業士会研修会を開催しました

郡山市青年農業士会は、将来的に郡山市の農業を担う経営者として活躍が期待される若手農業者で構成され、現在14名で活動しています。

毎年、先進的な農業経営者等への視察研修や専門家を講師に招いての勉強会等を実施し、自身の栽培技術や経営能力を研鑽するとともに、会員同士の交流を深めています。

平成30年度の研修会では、「平成30年度郡山市産地担い手育成支援事業」を活用し、3月6日から7日にわたり、会津天宝醸造株式会社や会津若松市内の酒造会社等を視察し、6次産業化商品や新商品を開発する企業の着眼点や商品開発のプロセスを知り、成功に結びつけるブランディング手法等を学習してきました。



会津天宝醸造株式会社での研修

【研修案内】アグリカレッジ福島（農業短期大学校）より

就農研修、農産加工研修、農業機械研修等の受講生を募集しております。詳しくは「アグリカレッジ福島」で検索してホームページをご覧ください。

令和元年産米全袋検査の実施について

平成30年産米の全量全袋検査においては、全県で920万点以上を検査し（令和元年5月末現在）、全て基準値以下となっており、平成27年産米以降は4年連続で基準値超過は出ていません。

令和元年産米の全量全袋検査についても、平成30年産米までと同様に全ての米を対象として検査を実施することになっています。そのため、令和元年産米についても、引き続き、出荷販売される米だけでなく、自家消費米・縁故米も含めてすべての米について検査をうけてくださるよう、御協力よろしくお願ひします。



ベルトコンベア式検査機器による全量全袋検査

郡山地域で設置する実証ほの紹介

I 先端技術展開事業「いちごUV-B効果実証」



UV-Bライトが設置されたハウス

郡山地域は、県内有数の消費人口があり、生産地であり消費地という面を持っています。いちごの県オリジナル品種「ふくはる香」は、その甘さと香りの高さから市場や直売所等でも高い評価を得ており、郡山地域におけるいちご栽培面積の約40%を占める重要な品種の一つとなっています。

しかし「ふくはる香」は、イチゴうどんこ病に感染しやすく、対策が課題であることから、うどんこ病抑制効果のある「UV-B照射技術の実証ほ」を設け、化学合成農薬との組み合わせによる防除体系を確立するよう実証を行っています。

II 「中・外食向け」品種「ちほみのり」の現地実証

米の生産は、生産過剰とならないように需要に応じた取り組みが求められています。値頃感のある価格帯の品種の米は「中・外食向け」に増産が求められており、単価の安い品種でも単収を向上させることにより、単位面積あたりの収入を確保することができます。近年、各JAや集荷業者等では、販売先に応じた品種を指定して生産する取り組みが拡大しています。

農業振興普及部では、農業者の安定収入と普及拡大を目的に、多収で、倒伏しにくく、既存の品種と収穫時期の重ならない早生品種の「ちほみのり」の展示ほを喜久田町に設け実証を行っています。

栽培特性(農研機構東北農業研究センター資料より)

品種名	出穂期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	精玄米重	玄米重
					(kg/a)	標準比 (%)
ちほみのり	7.28	76	17.8	473	69.3	111
あきたこまち	7.31	89	18.5	451	62.5	100

注) 育成地(秋田県) データ

エコファーマーについて

エコファーマーとは、たい肥などによる土づくりを行いながら、化学合成農薬・窒素肥料の使用量を慣行基準より減らして農業に取り組む計画を、法律にもとづいて県知事が認定した農業者の事です。

6月に開催した令和元年度第1回目の認定委員会では38名の生産者が認定になりました。

産地全体で取得し、産地の魅力としてPRしていきませんか。

興味のあるかたは、農業振興普及部へお気軽にご相談ください。



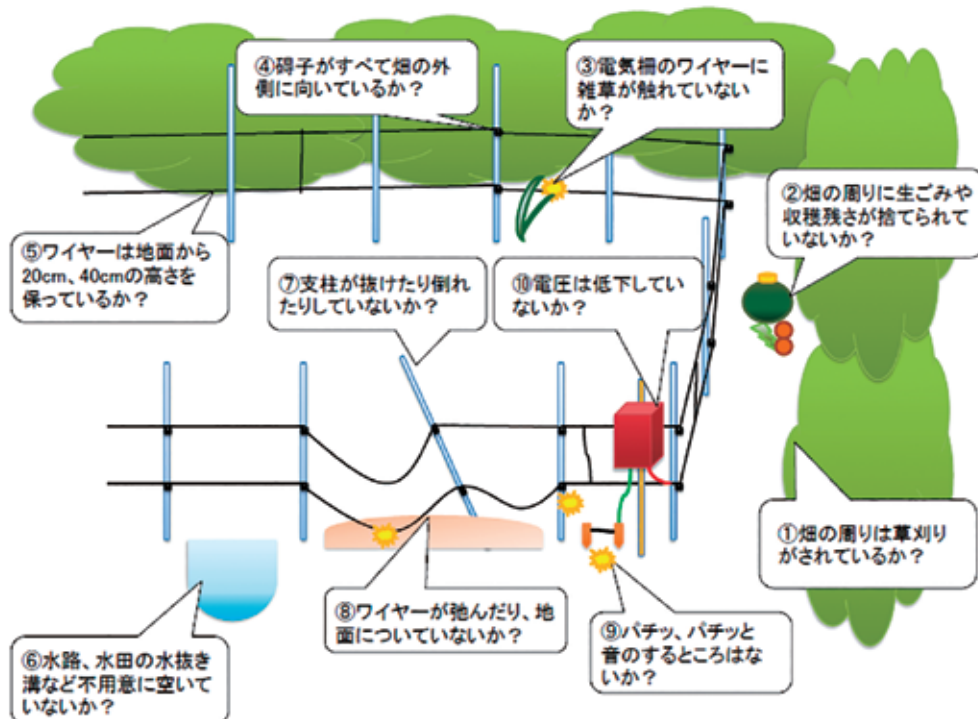
「エコファーマー」のマーク

正しく設置、電気柵 (電気柵の適正設置、管理)

7月に入り、様々な農作物が収穫期を迎えています。皆さんが育てた農作物を野生動物から守るために、多くの地域で電気柵が導入されています。

ところがこの電気柵、使い方を間違えてしまうと「ただの紐」となってしまいます。最大限の効果を得るためには、正しい設置と日頃の管理が必要です。

電気柵の正しい設置、正しい管理で野生動物から農作物を守りましょう！



(農業総合センター作成)

転入者紹介

今年度、新たに10名の職員が転入しました。

これまでの職員ともどもよろしくお願いたします。

所属	職名	氏名	前任地
	部長	古川 勝弘	環境保全農業課
農業振興課	課長	黒津 賢治	南会津農林事務所
	主査(キャップ)	新谷 真美	畜産課
	主査	吉田 美文	県中保健福祉事務所
	主査	中澤 亮平	県中地方振興局
	技師	有我 桃子	県南農林事務所
	主事	小檜山海斗	新規採用
地域農業推進課	主査(キャップ)	鈴木 幸雄	農業振興課
	技師	小松 一樹	新規採用
経営支援課	主査	佐久間光子	農業総合センター

まずはワンチェック(始業前点検)、ワンアクション(ベルト・ヘルメット着用)で農作業安全